QSK(はなみずき vol 413) 1997年9月18日第三種郵便物承認 通巻8663号 2025年10月3日 発行(毎月1.2.3.4.5.6.7がつく日)

QSK

発行:九州障害者定期刊行物協会 住所:福岡市東区社領1丁目12番4号

はなみずき

編集:熊本きぼう福祉センター・熊本きぼう生活支援センター 編集人:森田 哲史 Eメール:kibou.f.c@deluxe.ocn.ne.jp

Vol413(令和7年9月)

一般社団法人熊本県精神保健福祉会連合会

代表:飯塚 幸二

〒861-4106 熊本市南区南高江7-8-77

Tel096-358-4054 fax096-358-3337

定価 100円(会費に含む)

ご報告 第５３回熊本県精神障がい者家族大会

大会テーマ 「笑顔呼びこむ 家族会！！」

日 時：令和７年９月２６日（金）１２:３０~１６:００

会 場：熊本県立劇場 大会議室

内 容・記念講演（13:30～15:00）

テーマ 「当事者・家族の思いを踏まえた精神医学研究

～こころとからだの健康のために、今できること、これから考えること」

講 師 尾崎 紀夫氏（名古屋大学大学院医学系研究科 精神疾患病態解明学 特任教授）

・活動報告（15:00～15:30）

テーマ「家族は今 ~病に教えられた絆～」

報告者 中村 さとる氏（熊本県精神障がい者団体連合会副会長、べてる式当事者研究研究員）

熊本県精神障がい者家族大会を、9月26日(金)熊本県立劇場大会議室で開催しました。昨年来、会場参加とリモート参加を併用した形式で開催し、会場に県内8か所からのリモート参加を加え、約200名の参加となりました。

大会は、アトラクションとして中村さとるさん(活動報告にも登壇)のギター弾き語りで、当事者としての思いを詠ったオリジナル曲、「悲しみは心に」「信じて祈ろう」の力強い演奏で始まりました。

大会式典では、会長のあいさつとして、この間の精神福祉関連での一定の進展があったこと、反面、雇用や生活保障の運用でより厳しくなる動きがあったことを報告。障がい者・家族が安心して暮らせる社会とするには、まだまだ家族が声を上げ続ける必要もあり、家族会の活動の強化へ会員のみなさんのより一層の参画・協力を呼びかけました。また、事務局より、県連家族会の説明・紹介を行いました。(コロナ禍以来ですが、今回も来賓挨拶は控えさせていただきました。)

大会式典のあと、記念講演として名古屋大学の尾崎紀夫先生に登壇いただきました。尾崎先生は、名古屋大学大学院医学研

（次ページへ続く→）

QSK(はなみずき vol 413) 1997年9月18日第三種郵便物承認 通巻8663号 2025年10月3日 発行(毎月1.2.3.4.5.6.7がつく日)

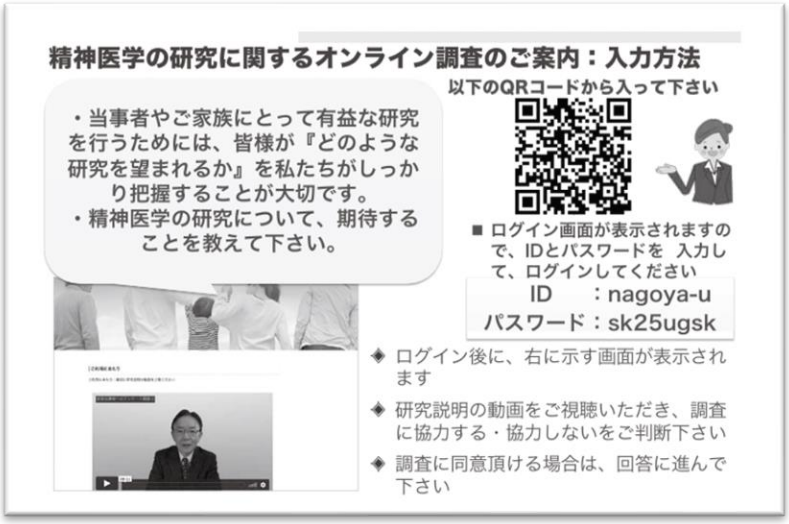
(↘前ページの続き)

究科の精神疾患病態解明学特任教授で、日本統合失調学会やうつ病学会の理事なども務められている先生です。当事者・家族の思いを踏まえたかたちで精神医学の研究を続けられており、愛家連(愛知県の家族会連合会)の皆さんの意見・希望に応える形で研究と家族への情報提供をすすめられています。

今回は、事前に事務局よりお送りした(前日でしたが)質問への答えから講演が始まりました。プロジェクタでの説明資料も直前で用意していただき恐縮です。コロナ禍による新たな精神障がい者の発生、兄弟の発症不安、そして救急医療の問題、病気の生化学的指標の有無・・など

講演の主な中身も、先生が事前に準備された膨大な資料の中から、普段当事者や家族が不安に思っている点への解説・説明を主にお話いただきました。肥満、薬、のどの渇き、便秘、睡眠、いびき、不眠、プロラクチン、そして、自動車運転をめぐる問題、妊娠。薬の開発、福祉との連携や家族の対応の問題までなにもかも。今後課題として、1)当事者・家族の意見を今以上に取り入れることと、2)研究結果を判りやすく伝えること、3)精神疾患の診断法・治療法の開発を進めること。を提唱され、話を締めくくられました。障がい者家族として将来への「きぼう」が広がり・繋がったという思いです。今後の先生の研究の進展に期待し、かつ家族としての協力を続けていかなくては、と思います。

(「精神医学に関するアンケートへのご協力お願いします。・・ 右記バーコード参照」)



記念講演のあと、アトラクションにも登場した、中村さとるさん(県精神障がい者団体連合会副会長・べてる式当事者研究研究員)の活動報告がありました。「家族は今、病に教えられた絆」と題し、中村さんの病気の発症(爆発)から今まで実体験、病気と、家族や周りの人たちへの思いを率直に語られました。最後に県連事務局より大会宣言を提案・採決し今年の家族大会を終わりました。

※大会の様子や講演内容は録画での視聴もできます。(大会資料も余部がありますので)事務局へお申し込み下さい。

大会資料・きぼう誌郵送料 500円 アーカイブ使用料 500円
合計1000円(手数料支払い者負担)を徴収したいと思っております。
視聴希望の方は**下記アドレス宛に**

① **件名に「家族大会アーカイブ視聴希望」**
② **本文に「所属名」「ご氏名」「ご住所」「電話番号」**

をメールして下さい。視聴支払方法を事務局よりメールします。

メールアドレス kibou.f.c@deluxe.ocn.ne.jp

当日参加された方もアーカイブを観ることができます。視聴希望の方は096－358－4054(県連事務局)までご一報ください。

QSK(はなみずき vol 413) 1997 年 9 月 18 日第三種郵便物承認 通巻8663号 2025 年10月3日 発行(毎月 1.2.3.4.5.6.7 がつく日)

感想文①

第５３回熊本県精神障がい者家族大会に参加して

鷲山貴洋氏

皆様、どうも初めまして。私はきぼう福祉センターで B 型作業を利用させていただいている鷲山貴洋と申します。よろしくお願いします。

９月２６日、第５３回熊本県精神障がい者家族大会が開催されました。まず、アトラクションがあり熊本県精神障がい者団体副会長の中村さとる氏のギター弾き語り演奏が行われました。会場の雰囲気が和やかになるような軽やかな演奏でした。その後、熊本県精神保健福祉会連合会飯塚会長による主催者挨拶が行われました。挨拶で、インクルーシブ（みんななかよく）な共生社会の実現は必須であり、今はエクスクルーシブ（排他的）な社会、そのどちら与するか大きな岐路に立っているとおっしゃっていました。周囲の人を大切に思うだけでなく、見えない他者のことや未来の他者のことを考え幸せになってほしいと思って行動していこうと思いました。

挨拶終了後、名古屋大学大学院精神疾患解明学特任教授の尾崎紀夫氏による記念講演が行わました。記念講演で尾崎先生は、万能薬はなく、精神障がい者は症状による活動性の低下や食べ過ぎや薬の副作用による肥満リスクがあり、精神疾患以外の、病気にかかるリスクが健康も脅かすことを説明されました。

また、服薬により自動車運転ができない事で就労など生活に支障が出る問題を話されました、薬の副作用による自動車運転できない問題など副作用によって当事者に与えられる影響は深刻で健康問題は、医師とコミュニケーションをとりながら必要な場合、他科受診をして検査するしかないと思いました。
その後アトラクションでギター弾き語り演奏をされた中村さとる氏による活動報告で中村氏は発病の経緯から、現在にいたるまでを語られました。発病し当初は殺されるという恐怖感を持ち、社会復帰へのプレッシャーや仕事が続けられない自分への絶望感を話されました。こういった苦しみや恐怖心を軽減するためにも、一人で抱え込まず相談できる場所が必要だと思いました。
最後に今も悩みを抱えている方々が大勢いると思います。障がいがあっても明るくのびのびと暮らせるそんな社会になればいいなと思いました。

感想文②

第５３回熊本県精神障がい者家族大会に参加して

T.T 氏

令和７年９月２６日金曜日午後１２時３０分から熊本県立劇場大会議室にて第５３回熊本県精神障がい者家族大会が開催されました。第１部では、アトラクションで中村さとる氏のギターによる弾き語り演奏が催され、なかなか風情のある演奏が生できけて、とても魅力のある演奏でした。

第２部では記念講演として、名古屋大学大学院医学研究科の教授尾崎紀夫医師を迎えての講演でした。尾崎教授は、いろいろな精神疾患の研究を携えられ、又、幅の広い様々な病理知識もあり、且つ、直接研究だけでなく臨床研究もおこなわれています。抗精神薬の種類も数多く知っておられ、医師としての優れた業績もあり、医師として大変立派で研究熱心な方だなあと感心しながら講演をききました。

次に中村さとる氏による講演があり、統合失調症に患り、様々な苦労をしたこと、２６歳で結婚して１年後に娘を授かって、親としての苦労をし、大変努力したことなどが印象的でした。家庭、家族の集団生活の中で生きてきたことの厳しさ、難しさがひしひしと感じられました。また、前にボランティアとして来られたＩさんにひさしぶりに合い、当事者としての子どもさんがおられ、いろいろな苦労をして、大変と言われ、親の心が良く分かるような気がしました。最後に、川目さんが大会宣言文を読み上げられ、今年の家族大会も無事に終了しました。

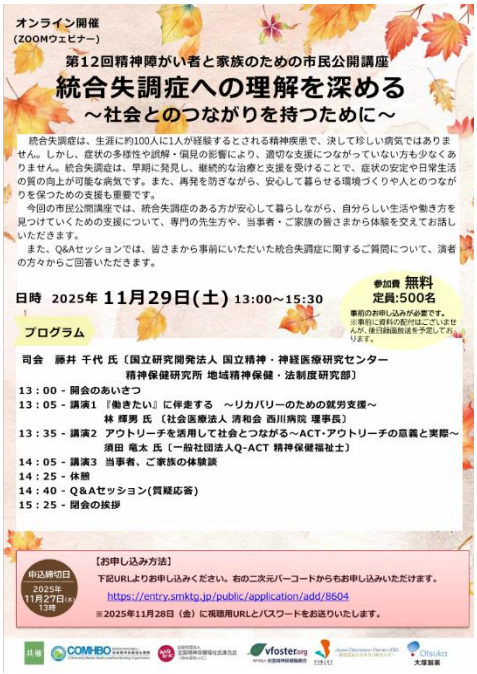
QSK(はなみずき vol 413) 1997 年 9 月 18 日第三種郵便物承認 通巻8663号 2025 年10月3日 発行(毎月 1.2.3.4.5.6.7 がつく日)

お知らせ　　第１２回精神障がい者と家族のための市民公開講座

統合失調症への理解を深める

～社会とのつながりを持つために～

ＮＰＯ法人精神保健職親会主催で第１２回精神障がい者と家族のための市民公開講座が開かれます。市民公開講座では、統合失調症のある方が安心して暮らしながら、自分らしい生活や働き方を見つけていくための支援について、専門の先生方や、当事者・ご家族の皆さまから体験を交えてお話しいただくそうです。



■ 開催概要

日　時 ：2025 年 11 月 29 日(土)　13:00～15:30

参加費 ：無料

定　員： オンライン 500 名(要・事前申込)

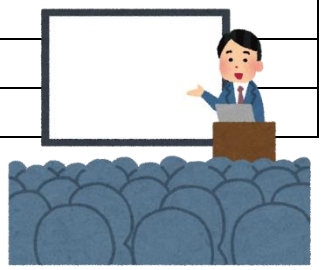
開催形式：オンライン開催(ZOOM ウェビナー)

管理者：「精神障がい者と家族のための市民公開講座」事務局

お問合せ先：E-mail workstyle-seminar@newsbase.co.jp

県連本部事務局及び熊本きぼう福祉センター報告　　（９月１日～９月３０日）

９月４日（金）	スポレク実行委員会／オンライン
５日（金）	～６日（土）全国大会 in 京都
１０日（水）	八代地域家族会役員会／於地域生活支援センターすまいる
２６日（金）	第５３回熊本県精神障がい者家族大会／於熊本県立劇場
２３日（土）	県連代表者会議／於熊本県連家族会館

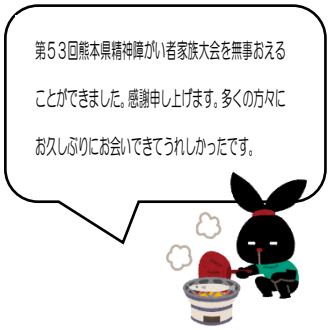


＜１０月の日程＞

３日（金）第６１回熊本県精神保健福祉大会／於合志市文化会館

１８日（土）きぼう秋まつり／於熊本県連家族会館

３１日（金）きぼうの家等文化交流会／於熊本県連家族会館

＜１１日の日程＞

１４日（金）第３２回ふれあいピック／於パークドーム熊本